



学校だより

平成 30 年 2 月 16 日発行

臨時号

阿賀野市立安田中学校

深めよう絆 県民運動
☆いじめ見逃しゼロスクール

〒959-2221

新潟県阿賀野市保田 4419

TEL 0250-68-3013

臨時号

1, 2 月にあったいじめについて ～アンケート集約結果と対応について～

ズボンおろし、靴を汚すいやがらせ、わざと体にぶつかりいやなことを言う、などのいじめが1月から2月にありました。期末テスト終了後、臨時の全校集会を開き、この事実を話し、アンケート記入と個人面談を行い、一人一人の思いを受け止めました。その結果が以下のものです。

生徒用アンケート集計

- (1) いじめを受けた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全校で 48 件
 [暴力、悪口、誹す、からかい、陰口、無視等その他] 1年 67% 2年 15% 3年 18%
- (2) いじめを見た、聞いた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全校で 67 件
 [暴力、悪口、誹す、からかい、陰口、無視等その他] 1年 78% 2年 19% 3年 3%

* 1 人が複数件の訴えをしているものや解決済みのものを含んだ件数やパーセントとなっています。

保護者用アンケートより (抜粋)

- 1 学校生活において、いやだなあと思うこと、やめてほしいこと、は何ですか。
- ・無視して、目つき・無表情で相手に圧をかけるのは1番不快な思いをします。
 - ・いやだなあと思うことは、例えば、からかわれている子がいたら周りを注意したら逆にからかわれたりすること。こっちを見てこそこそ話したりされていること。
- 2 その他 (よりよくしていくために改善すべきこと、こうしたよさを伸ばしていくべきなど)
- ・いじめが事実であったら、すぐにでもなくなるように対応してほしいと思います。子供たちは大人の前と子供たちの前で態度が異なる子がいるので、学校の様子、行動など、よく見てほしいと思います。

うしろへ続く

- ・いじめられる側の思い、いじめた側の思い、人の心の痛みはされた人もした人も味わう。一人ひとりの人を思いやる心、いじめはよくないことと自覚するような話し合いをする場をたくさん作るべき。
- ・生徒一人一人の悩みや相談事を何でも話せる場があったりするとよいのではと思います。（この場合学校ですが）家庭でも子供の話をたくさん聞くようにしたいです。

こうした実態を受けて、次のような対応をしていきます。

- ①アンケートと個人面談で明らかになった未解決な部分について、すぐに対応していく。
- ②当面、授業と授業との間も授業者が次の授業者と入れ替わるようにして、生徒の次の授業準備を見守る。
- ③部活動は、必ず顧問が付いた状態で活動する。つけないときは、活動しない。
- ④生徒会が中心となって、生徒自らがいじめについて考え、生徒同士や大人を交えて話し合い、いじめ撲滅に向けた取組を行う。（市内 4 中学校がどのようにそれぞれの学校でいじめ撲滅の運動を行うので、他校の取り組みも参考にしていく）
- ⑤命や人権についての講演会を実施し、心を耕す。
- ⑥校内外の生徒の様子を確実に生徒指導情報として公開していく。同時に日々の教育活動において生徒の成長している姿（取り組み状況）も公開していく。
- ⑦いじめ防止とより良い人間関係づくりのための研修を見直し、教職員の指導力向上を図る。
- ⑧スクールカウンセラーを活用し、悩みなどを相談しやすい環境づくりを進める。

アンケート記入をもとに、全担任が一人一人と個人面談を行い、これまでの学校生活での思いを確認しました。臨時の全校集会を開き、つらい思いをさせてしまったことについて学校長が謝罪しました。いじめは決してあってはならないことであり、一人一人の人権がないがしろにされてはならない。先生方も今まで以上にいじめ撲滅の取り組みをしていくので、生徒の皆さんも人権意識を持って、おかしいと思う言動があれば、注意しあったり、先生に話したりしてほしいこと、を伝えました。

教職員一同これを機に気持ちを引き締め、生徒一人一人が安心して学び、成長していける安田中学校にしてまいります。保護者の皆様にはご心配をおかけいたしました。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。